口腔管理の標準化にむけた口腔内アセスメントの有用性についての検討

○　研究の意義・目的

お口の中にある感染の元（虫歯や歯周病、口内炎など）を治療すると、傷口の感染や手術後の肺炎などの合併症が予防できることが明らかとなっています。今後、効果的に合併症を予防するためには、正確にお口の状態を評価し、病気との関連を検証することが必要です。そこで今回、本院で作成したお口の評価表を用いて病気とお口との関連を明らかにするため、この研究を計画しました。

○　研究対象者

平成29年4月から令和9(2027)年3月の間に、医科治療中の合併症を予防する目的で、広島

[redacted]

広島大学病院　助教　西　裕美

○　研究期間

平成29（2017）年5月30日（委員会承認後）～令和10(2028)年3月31日

○　個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

＊研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先
〒734-8551　広島市南区霞1-2-3
Ｔｅｌ：082-257-5744
広島大学病院口腔総合診療科　　河口　浩之、西　裕美